



発行 東京片貝会
 責任者 佐藤祐一 事務局 黒崎勝
 〒252-1132 綾瀬市寺尾中39-24
 電話 0467-76-3154

東京片貝会

新年会御案内

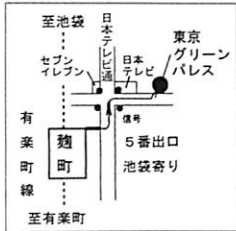
新しい年を、お健やかに迎えられることと存じます。本年は、いよいよ創立五十周年を迎えます。記念総会は、お知らせの通り、七月に予定しています。これに先立ち恒例の新年会を開催致します。会の益々の発展を祈念し、お互いの健康を祝し、多幸を祈りたいと思います。思い出話、夢を語り合い記念式典への話しを盛り上げましょう。
 多教ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日時 平成21年1月25日(日)午後一時(正午より受付)
 会場 東京グリーンパレス(全国市町村職員共済組合連合会)
 東京都千代田区二番町二番地
 電話 03・5210・4600
 会費 七、〇〇〇円
 お願い 返信は1月13日(火)までをお願いします。



会場へのご案内
 ・東京メトロ有楽町線 麹町駅(番出口5)徒歩1分
 ・JRまたは都営地下鉄新宿線、東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 徒歩7分



会の動き

理事会 5/25

於：かんぽヘルスプラザ 佐藤会長以下15名

・会報発送 約八百部
・総会打ち合わせ

第48回総会 6/29

於：かんぽヘルスプラザ 出席者108名
会員79名、片貝来賓29名
(二面参照下さい)

片貝祭厄年の会へ寄贈 9/9

片貝まつり、成人、33才、42才、50才、還暦
伝統芸能保存会
清酒二本ずつ寄贈

片貝祭奉納 9/10

黒崎副会長 出席
相撲場機敷で会員観覧
20名が参加。

(例年機敷二枚を申し込み祭り場での会員の懇親の場としています。)

励ます会教育講演会 10/10

於：片貝中学校
出席 佐藤会長
本田励ます会会長
小宮理事
内藤理事

予告 東京片貝会創立50周年 を迎え記念行事を計画

東京片貝会は、二〇〇九年創立50周年を迎えます。記念総会は、平成二十一年七月五日(日)上野精養軒で十二時より開催の予定です。

記念行事としては、・記念誌(会報の集録)の発行・記念総会、懇親会・その他を予定しています。

記念行事財源の助として、会員、関係者のご協力をお願いいたします。

・記念行事ご寄付(振り込み用紙でお願いします)
・記念誌掲載広告募集

・真：二万円 1 2頁：一万円 1 4頁：五千円
ご質問、申し込みは事務局まで

片貝まつり

愛と心 思いを込めて



片貝まつりは、九月九日十日、両日快晴の下で、奉納花火大会、筒引きなど多彩な行事が展開され、人出は十九万人であった。九日には、「巫女爺」が、今年県無形文化財に指定されたことを記念し、巫女爺まつりを開催、人形展、四団体による競演が行われた。花火は、二日間で約一萬五

講師 太刀川 正美氏
(三面参照下さい)

理事会
於：東京グリーンパレス
佐藤会長以下16名参加
励ます会講演会報告
・新年会 打ち合わせ
・50周年記念関係



千発が打ち上げられ、両日の世界一の四尺玉は見事に開花した。九日の還暦「とない」のスターマインは「片貝まつり始まって以来最高額」と言われ、その豪華さに観客が立ち上がり、機敷席全体から大きな拍手が送られた。

明日の片貝を考える集い 第二回フォーラム開催

片貝町地域活性化推進委員会は、七月二十五日復興支援員コーディネーター寺島義雄氏を迎え、「明日の片貝を考える集い」を開催した。

参加人数は、七十名くらいであったが、熱心に聴講した「町の活性化」とは、町民が元気で、地域のつながりが大切、女性のパワーを活かすなど、取り組み方、今後の在り方を教わった。フォーラムは第二回を迎え、「意識調査」も終了している。具体的な取り組みが期待される。

九日、「駒村 遙 追善供養 駒村遼太郎」として、大花火が奉納された。平成十六年「一年追善供養」として奉納されているが、当時二十才の遼太郎さんが、二才下の遙さんを白血病で亡くし、一年間働いた全財産で、追善花火を揚げ、感動を与えた。

この兄妹の話は、映画化されることになり、現在「タロウとハナビ」(株)ケイファクトリー)の題名で、撮影中である。実話から脚色されているが、本年八月下旬公開の予定である。

今年も、成人「暖心会」(会員48人)を祝い、町民一同から、四尺玉が奉納された。

第49回東京片貝会総会

絆をより深く

故郷を想う

平成20年6月29日
東京グリーンパレス



東京片貝会第49回定期総会は、六月二十九日、新たな会場「東京グリーンパレス」で、会員79名、片貝から市長を初め、ご来賓29名の合計108名の参加で盛大に開催された。

司会は、芝強さん(38卒)と内藤富美子さん(43卒)のお二人。開会の辞は、黒崎勝(28卒)副会長から、大勢のご参加への感謝、新会場での楽しい一時をとお褒めあり、開会された。

佐藤祐一(27卒)会長の挨拶では、「会員の方から、79名の

参加、また片貝から市長を初め沢山のご参加を頂き感謝している。創立50周年の記念行事を計画しているが、是非沢山の方に出席して頂きたい。最近、携帯電話やメールが発達し、面と向かつての話し合いが少なく、本日は、顔と顔を合わせ楽しい時間となりますように。」
続いて、母校を励ます会の本田秀幸(37卒)会長から、会員の皆様からのご協力お礼、今秋の教育講演会の案内があった。その後、内山中学校教頭、伊田小学校教頭へ、それぞれ十万円図書費を贈呈した。両先生から、学業もスポーツも頑張っており、その成果などと一緒にお礼の言葉があった。

第二部懇親会は、ご来賓の紹介の後、川上東陽協議会会長の挨拶で、最近のニュースでは前市長の関さんの受勲披露のパーティが、大勢で、回に分けて行われたと話された。谷井靖夫市長は、半導体会社の社長から市長になられた経緯を話され、小千谷市は全国住みやすい市では、130/783で、新潟県では、20市内、トッ

プの長岡に次ぎ二番目の市で、これからもご期待に添うように頑張りたいと述べられた。続いて、長谷川きよ新潟県会議員から、鴻の巣出身で、「となかい会」で今年選出の煙火を奉納すること、県議女性は、4/53名で福祉高齢者などの問題で努力したいと挨拶された。
乾杯は、吉原正幸小千谷市議会議長の力強い音頭で懇親会に入った。
今回の参加者は、現役の会員も多く、また片貝からの還暦(となかい会)、42才(友心会)の役員の方も見えられ若い熱気が一段と盛り上げた。メインは、片貝芸能保存会のシヤギリ、木造りで、皆お祭りを想い、感動にひたつた。恒例となった「ああ上野駅」合唱の後、これぞ片貝の「木造り」の大合唱で、楽しい一時も終わりを迎えた。

阿部修次前会長の力の入った一本締めにつき、特別会員の吉井陽さんの万歳三唱が行われた。閉会の辞は、大塚国夫(31卒)副会長で、「シヤギリ、木造りで片貝まつりを思い出した、50周年大勢の参加をお願いします。」と挨拶があり、JAえちこおちやからのお土産うおめまコシヒカカリを頂きお開きとなった。

会員近況

山口時男さん
秋の受勲受章
山口時男さん(利和会)は、二〇〇八年秋の受勲で、瑞宝双光賞を受賞された。
山口さんは、昭和二十六年神奈川県警察に入られ、警察官一筋に勤められ、平成二年横須賀警察署長で退職された。
小宮善徳さん
よこはまウオーキング
協会展長で活躍
小宮善徳さん(伸友会)は、よこはまウオーキング協会で会長として、五年日を迎え活躍されている。

会員は、現在約千名おり、月四回程度ウオーキングを開催している。(平均三百名参加)また、今年のミナトよこはまツアーマーチでは、二日間、全国から約四千三百人の参加があった。
ご希望の方は、協会の方へご連絡下さい。
入会金：年間二千円
定例会は会員以外、五百円
045-870-3690

東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇円とさせていただきます。
会報と同封される郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。
母校を励ます会は、二面をご参照下さい。

第26回 母校を励ます会講演会
「N.T.T通研の二研究者が考えていること」
研究そして環境・防災について

太刀川 正美氏(昭和46年卒 船出会)
平成二十年十月十日 片貝中学校にて

第26回教育講演会は、中学生127名、小学六年生45名、そして町の人達も多数参加され開催された。

講師は、N.T.T厚木通信研究所の太刀川正美博士(町裏出身)で、子供の頃の話、疑問を持ち続けた学生時代、研究者となつての成果、そして現在の仕事などについて講演された。

子供の頃、ドラエモンのナンデモポケットに憧れた。ケネディの暗殺事件やアポロの月面探査のテレビを見て、宇宙、衛星テレビ、通信に興味を持ち、宇宙旅行や言葉を使わないテレビバシーなどができたらいいなと思つてた。

研究者になり、壁掛けテレビ(L.E.D.)を開発した。またテレビバシーは指輪をして握手するだけで名刺交換などの情報が伝わる方法を研究され



ている。できたらいいなと思ふことを、実現化するのが研究者です。「研究はおもしろい」のです。

高校、大学時代、数学、物理学を教わり、それまで疑問に思つていた考え方に、大きな影響がありました。ここで数学、物理の例題からの説明があった。(かなりレベルが高く、本人も恐縮されながらの説明であつた)。問題の間違つていることを証明する

のも学問(線分の点の数の問題)・回答の方法を考える学問(A点から鏡に反射してB点への線の問題)・物理学では、十年後の動きも計算できるが人生は解らない。(二重スリットの干渉縞の話)このような学問を経て研究者になろうと思つた。

N.T.Tに入社後、大型壁掛けテレビの研究を行ったがコストが高かつた。衛生放送の通信の開発。アメリカへ留学し、光通信と電送手順の研究などをおこなつた。現在は、研究所の環境、防災に関する仕事を行っている。起こると言われる東海地震対策、特に

発生後のバックアップが大切、A.E.Dの使用法の普及I.S.Oに基づく省エネの活動を進めている。

人が当たり前だということなどに疑問を持つことのできる人、持ち続けることのできる人は是非研究者になつて欲しい。研究は苦しい時もあるが、答えが見つかった時の喜びは格別である。

研究はおもしろい。生徒代表から、花束贈呈があり、佐藤校長先生から「自分がやりたいことをやるから楽しい。そういうものを見つけて欲しい」と閉会の挨拶を頂いた。

「母校を励ます会基金協力者氏名」(敬称略・順不同)
(H20.5.28~H20.10.23)
日下部政子、山口三郎、丸山春、芋川トシ、小宮繁雄、黒崎音吉、谷口イク、小宮八重、中川克子、松下利夫、江澤キヨ、星、シズ、山口光雄、小宮幸雄、大井悦子、安達和三、阿部修次、黒崎晴郎、佐藤安治、高野賢、山口明男、神林勝夫、吉原三代治、豊島文枝、黒崎正、青柳泰子、大塚順一、新澤須美、石上俊夫、小嶋ミツ子、安達進、松岡規子、藤塚浩治、佐藤祐一、久賀友作、小松原美枝、守屋ヤウ、安達隆、相内テル、吉原宏、奥瀬洋子、鈴木アヤ子、木下伸、宮下愛子、鯉島昭雄、木曾忠治、大塚國夫、黒崎良子

藤塚 悟、小野塚清、小宮善興、芝満雄、吉井信三、諸我時夫、重原文明、渡辺千香子、大塚功績、高山章子、安達弘、井上知子、上藤イツ、吉原敏明、寺町明美、鈴木映子、木田秀幸、松井京子、堀井潔、阿部武、小野塚和夫、芝強、佐藤正志、相崎俊夫、安達徹、西沢薫、岩橋理津子、横山純夫、内藤富美子、徳永雅史、となかい会長

片貝小学校児童
巫女爺を受け継ぐ

片貝小学校では、本年五月から、「片貝巫女爺子供教室」(本年度、文化庁の伝統文化こども教室事業に指定)を開催、伝統芸能保存会から指導を受けている。



巫女爺のクラブは、四年生から六年生までの希望者で、21名が参加しており、女子も八人含まれている。

歌の四部門が一体となり演じられる。これら全てを児童が行うもので、最初は笛の音も出ない状態から、一生懸命練習を重ね八月の夏休み中の特訓で急速に進歩し、上手に演じられた。巫女爺が踊る歌は、七曲あるが、その中の「伊勢音頭」「おいとこそうだ」の二曲をマスターしており、今後レパートリーを広げたいとしている。

これらの活動は、十月四日N.S.T(新潟総合テレビ)の「ぼくらの宝物」で放映された。この番組はシリーズ放送で、新潟の伝統芸能の継承を担う子供達の奮闘ぶりや地域と子供達の絆を伝えている。

屋台人形巫女爺は、小千谷市内を中心に江戸時代から、二百三十年余り伝承されている。現在十一団体が巫女爺連絡協議会を組織しており、本年県指定無形文化財となっている。片貝の巫女爺は、百四十年ほど前に、小千谷から伝わったとされる。氏神様の祭礼などで盛んに演じられていたが、テレビの普及、その他の娯楽も増えて、人気も無くなり、操り手、囃子方も高齢化し、昭和48年に途絶えてしまった。平成二年、伝統芸能保存会が発足。苦節五年をかけて、平成七年に復活した。

(小千谷新聞、新潟日報、巫女爺浪漫)

がんばる
片貝スポーツ少年

片貝では、スポーツ少年団が元気に活動している。指導者、保護者、町民の方々の暖かい輪に包まれ、大きな成果を上げている。

- 「片貝スーパーボーイズ」(男子ミニバスケット)
 - 一年生から六年生まで21名
 - 東北ミニバス地区予選優勝
 - 東北長岡地区予選 準優勝
 - 新潟日報長岡予選 準優勝
 - 新潟県ミニバス大会準優勝
- 「片貝ジャガーズ」(少年野球)
 - 選手32名、スタッフ9名
 - 小千谷、川口大会 優勝
 - 長岡米百俵大会 ベスト4
 - 片貝ドリムカップ大会 優勝
- 市内学童大会 優勝
- 「片貝ファンタジスタ」(女子ミニバス)
 - 子ども、保護者会、指導者が一つの目標、目的へ。
- 「片貝ミニバレーボールクラブ」
 - 体力の向上、人とのふれあい、正しい技術を身に付け、楽しくゲームができることを目的に日々練習。
- 「片貝空手道」
 - グローバル化の中で世界の人達と交流し、世界的視野を持つ子供たちの育成を目的として活動。

(会報 きょうきかい)

ふるさと・は・今

母校近況

■小学校

わんぱく相撲大活躍

第22回わんぱく相撲小千谷場所が5/10市内と川口町の百四十九名が出場し開催され、片小力士は大活躍した。一年生・優勝 三年生・優勝 五年生・優勝、準優勝 六年生・四位

また、化粧まわしコンテストで、友田花美さんが銅賞を受賞した。

小学生水泳大会
水泳も頑張るぞ

小千谷ジュニア水泳競技会兼小学校親善水泳大会は、8/2開催された。片貝小は、五年生百m自由形、五年生百mバタフライ、六年生百m背泳ぎ、五年生二百m個人メドレーで優勝した。また二百mメドレーリレーで見事に優勝。他に、一名が入賞し、水泳も頑張っている。

小千谷Jr陸上大会

第26回小千谷Jr親善陸上競技大会は、8/17市内の小中学校に加え、三条市、見附市、湯沢町などの市外勢を含む510名が出場した。小学生の部の片貝小の成績は、男子走高跳、女子八百mで優勝、

H20年6月から
H20年11月まで

4×百mリレーでも優勝した。入賞に23名が入り片貝健児は大活躍であった。

片貝小PTA文化教養部

講演会開催

PTA文化教養部は、9/17講師に日本紙飛行機協会の二宮康明会長(82才)を招き、講演会と紙飛行機の実技指導を行った。物作りへの興味の持たせ方などの講演があり全員で手作り飛行機に挑戦し自作の飛行機を飛ばした。空に舞う沢山の飛行機に歓声が上がった。

科学作品展覧会

第44回小千谷市児童生徒科学作品展覧会が開催され、金賞一名、銀賞には五名が受賞した。金賞は「どうしてちまきは長持ちするのか?」のテーマであった。日頃の観察力、勉強の成果が得られた。

■中学校

中越中学バスケットボール

片貝中学校準優勝

第39回中越地区中学校親善バスケットボール大会(片貝町体育協会主催)が、5/18片貝中に十二チームを集め開催された。片貝中は、決勝で越路中に敗れ、準優勝となった。

市内中学校陸上競技大会

第55回小千谷市中学校陸上競技大会が、6/3開催された。女子ジュニア八百m、女子砲丸投げで優勝。他に16名が入賞した。雨のコンディションの中で熱戦となったが、好成績をあげた。

中学校各種体育大会

片貝中大奮闘
中学校の市内および近隣各種体育大会が、6/11・12の両日開催された。片貝中は優秀な成績を収め、それぞれ中越大会へと駒を進めた。

野球

準優勝

男子バスケ

優勝

女子バレー

優勝

卓球

男子団体 三位
女子団体 三位
個人 優勝
ソフトテニス 三位

中越地区中学大会

片貝中バスケットも準優勝
中越地区中学校の各種大会が、7/8・9の両日開催された。片貝中バスケット部は、決勝で越路中に敗れ、惜しくも準優勝となった。越路中とは、チーム結成時からのライバルで、「打倒・越路中」と優勝を目標に練習を積んできた。片貝中のチームカラーは、走力を活かしたプレーである。

中学校新人大会

フリープレー片中

市内中学校新人大会が10/1・2の両日開催された。バスケ、バレーは圧倒的な勝利を収めた。少人数の中で日頃の頑張りの結果であり、更なる努力で新年度の活躍に期待がかかる。

秋のつくり

秋山郷結束

佐平治碑除幕式写真寄贈

市内の瀬沼秀雄さんは、このほど53年前の昭和三十年に結束で行われた「佐平治翁之碑」除幕式の写真を片貝へ寄贈された。佐藤佐平治は、江戸天保の飢饉の時、結束村を救ったことで知られている。結束は後世に伝えるために石碑を建立したものである。この写真は忍字亭に飾られている。

片貝町老人クラブ

「物忘れ」防止を勉強

片貝町老人クラブ連合会女性部は5/9認知症の予防についての研修会を行った。予防策として、注意分散能力・計画力・エピソード記憶力の鍛え方、刺激の仕方などを学んだ。身に覚えのある方は勉強をしましょう。

表参道新湯館ネスパス

おちやフェアで賑わう
原宿のネスパスで、おちや

フェアが6/12・16開催された。片貝会の新年会でも、紹介があったが、沢山の人が来場。特にコシヒカリ、棒だら、ちぢみせんべい、羊羹などが人気の売れ筋であった。ネスパスは常日オープンされており、新潟の紹介、物産の展示販売がされている。

片貝の花火をモチーフに

「空の華」シングル販売

小千谷生まれの「レインブック」のボーカル山本容子さんが、片貝まつりの花火をモチーフにして作詞した「空の華」が7月発売された。山本さんは、片貝まつりに四年連続で訪れており、プロモーションビデオは、忍字亭、浅原神社などで撮影された。山本さんは、天女のような歌声が魅力とされ、澄み切った歌声で活躍されている。

二だわりパンの

製造販売を頑張る

「花母茶」の組織に夫婦で参加されている山口早苗さん(H13年教育講演会で無人ヘリコプターを操り講演された)は、自家栽培の小麦粉による「農家でなければできない自然派の質の高いパン製造販売」を目指し、本年は2トンの小麦粉を収穫、目標とするパン造りに努力されている。

かたかい夏物語

片貝商工振興会は、かたかい夏物語を、8/9浅原神社境内で開催された。特設ステージでは、フォークグループお笑い集団、地元太鼓、甚句、小・中学校の鼓笛隊、吹奏楽部、合唱グループ、よさこい踊りなど多くの発表があった。大勢の来場者で盛り上がり、地域の活性化に貢献している。

敬老会開催

片貝地区敬老会は、10/5片貝小学校で開催され、対象者は76名であった。祝辞に続き演芸会は、保育園児の遊技、味線、踊り、琴演奏、マジックなどで楽しい一時を過ごした。米寿対象者は、22名で市長からの褒賞と祝菓子が贈られた。

片貝中学校同窓会開催

第18回同窓会は、10/26片貝総合センターで開催され、約130名が出席した。総会後、石油資源開発株の井上尚久部長の講演を拝聴した。

あとかぎ

東京の同級生仲間と、九日煙火を奉納した。私は生憎の出張で、其の時間はドイツと重なってしまった。帰りの機内の新聞に、九日の四尺玉の写真が大きく載っていた。(小宮)とても残念だった。